

アトムクス株式会社

2024年3月期

中間年次報告書

自 2023年4月1日 至 2023年9月30日

■ 株主の皆様へ



目次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・
株式情報…… 6 頁

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの2023年4月1日から2023年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当社では以前より「中間年次報告書」を株主の皆様へご送付し、当社ウェブサイト上に掲載しておりましたが、地球環境に配慮した省資源化の観点等から、今回より郵送を廃止させていただき、ウェブサイトのみでの掲載とさせていただくことにいたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2023年12月

代表取締役社長 宮里 勝之

■ 営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行したことにより社会経済活動は回復傾向に推移していますが、長期化するロシア・ウクライナ問題、イスラエル・ハマスの衝突等の地政学的リスクによる原材料やエネルギー価格の高騰及び調達リスクの深刻化や円安傾向の長期化など依然として不透明で厳しい状況が続いています。

このような厳しい環境が続いているなか、当社グループは「安全・安心・快適に寄与する製品」の開発を進め持続可能な社会の実現に貢献できるよう活動し、また、高収益体制を目指すべく顧客志向徹底、各事業部の深化を図るとともに定年制度の延長により経験豊富な人材の活用を行い体質強化に努めてきました。しかし、原材料価格等の高騰が続いており利益は厳しい状況となっています。なお、下期より再度の価格改定を予定しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高56億41百万円（前年同期53億6百万円）、営業利益48百万円（同36百万円）、経常利益58百万円（同43百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円（同16百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

〈塗料販売事業〉

建築用塗料は、水性防水材と遮熱関連製品の屋根材が伸長したことにより前年を上回りました。床用塗料は、水性関連製品は伸長しましたが、全体的に主要な顧客である会社の工場床の改修工事が減少したため前年を下回りました。道路用塗料は、歩行者安全確保の観点からの区画線引き直しやサミット、国体により路面標示材が伸長したこと及び高速道路等で剥落防止対策として補修関連製品が伸長し前年を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年と比べて1億91百万円増加し52億48百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

〈施工事業〉

床材工事は昨年同様となりましたが、子会社アトムテクノスで受注した工事が順調に進行しているため前年を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年と比べて1億43百万円増加し3億92百万円（前年同期比57.3%増）となりました。

■ 通期の見通し

2024年3月期の通期業績につきましては、地政学的リスクへの不安及び終わりの見えない原材料価格の高騰やコスト増加等が懸念され、依然として経営環境は厳しい状況が続くことが予想されるため、売上高120億円（前連結会計年度113億91百万円）、営業利益1億80百万円（同1億55百万円）、経常利益2億円（同1億79百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益1億10百万円（同81百万円）を見込んでいます。

■ 事業の概要

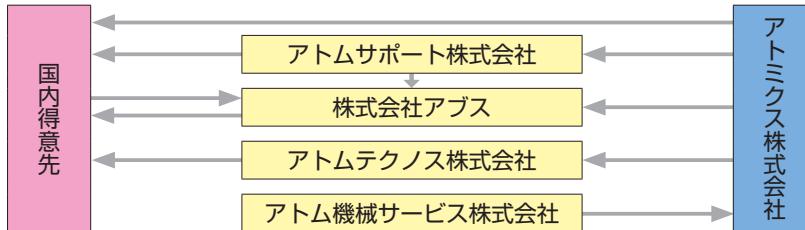
当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。
塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



経営理念・価値基準

次の経営理念・価値基準のもと、研究開発・営業活動に取り組み企業価値の向上を図っていきます。

経営理念

1. 製品・サービスを通じて社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に向けて貢献する
2. 独創性に溢れた発想と高度な複合化技術によって市場を絞り込み、その市場でナンバーワン、オンリーワンになることを目指し価値を提供する
3. 会社の成長発展を通して、社員の幸福を追求すると同時に社員の自己実現を支援する

価値基準

安全 (Safety) ・ 安心 (Relief) ・ 快適 (Comfortable)

代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、水性型、溶剤型、熔融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫、店舗等の床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(5) 水性防水材



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術の応用又アクリル樹脂を使用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

(2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

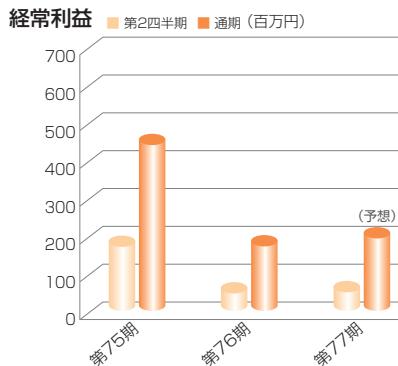
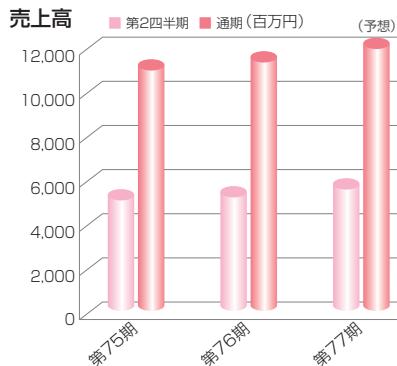
(6) 視覚障がい者用標示材



特殊な樹脂や骨材の配合で、耐候性、耐摩耗性に優れるとともに、滑りにくい表面加工によって視覚障がい者の安全な誘導に貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移



区 分	第75期 2022年3月期		第76期 2023年3月期		第77期 2024年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高 (百万円)	5,148	11,061	5,306	11,391	5,641	12,000
経常利益 (百万円)	178	447	43	179	58	200
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	187	378	16	81	24	110
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	35.31	71.38	3.06	15.39	4.54	20.69
総資産 (百万円)	13,521	14,543	13,668	14,389	14,137	—
純資産 (百万円)	9,798	9,971	9,894	9,983	9,940	—

■ 四半期連結決算報告（要約）

四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	前期末 (2023年3月31日現在)	当第2四半期末 (2023年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,960,490	8,733,094
固定資産	5,429,011	5,403,996
有形固定資産	4,273,655	4,302,114
無形固定資産	460,031	406,177
投資その他の資産	695,324	695,703
資産合計	14,389,501	14,137,091
(負債の部)		
流動負債	3,829,768	3,637,754
固定負債	576,596	558,393
負債合計	4,406,365	4,196,147
(純資産の部)		
株主資本	9,779,629	9,710,849
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	740,308	740,308
利益剰余金	8,998,575	8,927,745
自己株式	△ 999,254	△ 997,205
その他の包括利益累計額	203,506	230,094
その他有価証券評価差額金	190,762	218,718
退職給付に係る調整累計額	12,744	11,375
純資産合計	9,983,136	9,940,943
負債純資産合計	14,389,501	14,137,091

四半期連結損益及び包括利益計算書（単位：千円）

科 目	前第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,306,560	5,641,347
売上原価	3,907,650	4,189,210
売上総利益	1,398,910	1,452,137
販売費及び一般管理費	1,362,776	1,403,691
営業利益	36,134	48,445
営業外収益	19,221	12,220
営業外費用	11,671	2,121
経常利益	43,684	58,544
特別利益	349	249
特別損失	1,313	304
税金等調整前四半期純利益	42,721	58,490
法人税、住民税及び事業税	16,492	22,928
法人税等調整額	9,977	11,372
四半期純利益	16,252	24,189
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,252	24,189
その他の包括利益	1,002	26,587
四半期包括利益	17,254	50,776

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

科 目	前第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,123	321,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 234,246	△ 99,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 140,432	△ 138,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 304,540	83,168
現金及び現金同等物の期首残高	3,188,023	2,935,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,883,482	3,018,671

会社概要・株式情報 (2023年9月30日現在)

1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
創業 昭和12年2月
資本金 10億4000万円
従業員数 221名 (従業員数に嘱託社員を含めています)

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
支店 大阪府大東市
営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
名古屋・広島・福岡
工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 宮里 勝之
取締役 花形 裕透
富士田 学
鈴木 太亮
田中 滋子 (社外・独立役員)
常勤監査役 小川 博巳
監査役 上原 左多男 (社外・独立役員)
石川 伸吾 (社外)
執行役員 村岡 正己
川端 裕之
織田 英樹

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
発行済株式の総数 7,242,000株
株主数 1,050名
大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
アトミクス取引先持株会	954千株	17.08%
東京中小企業投資育成株式会社	700	12.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	321	5.74
西川正洋	280	5.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75715口)	270	4.83
ナラサキライン株式会社	134	2.40
東洋テック株式会社	126	2.25
楠本化成株式会社	106	1.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	106	1.89
アトミクス社員持株会	102	1.82

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する270,100株を除いた自己株式(1,652,645株)を控除して算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主
確定日 3月31日
中間配当金受領株主
確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人・
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同送付先 東京証券取引所
上場証券取引所
証券コード 4625
公告の方法 電子公告
URL <https://www.atomix.co.jp>
(やむを得ない事由により、電子公告
によることができない場合は、日本
経済新聞により公告いたします)

ATOM'X